

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	多文化共生推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	2	1	8	
政策	14個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります	担当課室	企画財政課			
施策	144世界と結びつく国際化の促進	担当課室長	小笠原 直樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	センター実施計画に基づき、センター自主事業やホストファミリー交流会を開催して、センターや姉妹都市の認知度向上、利用者増加につなげていく。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	次年度に向けて、センターの運営方法及び通訳ボランティアの活用方法の見直しを図る。
②①に基づく取り組み結果	姉妹都市や外国文化に係る自主事業を開催した他、姉妹都市周知期間を設けたことにより、センター及び姉妹都市の認知度向上につなげた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の外国人及び日本人	意図(対象をどうするのか)	多文化共生社会の実現
②事務事業の概要	多文化共生社会の実現のために設置した多文化共生推進センター(愛称:かまがやワールドプラザ)を拠点として、学習機会の提供、情報発信、相談等を実施するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	外国人住民が増加傾向にある中で、今後も外国人の方が暮らしやすいまちづくりにつながる施策や相談受け入れ態勢を実施していく必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	①プラザ通信の発行(年2回)、②センター自主事業(4回)、③ボランティア養成講座(2回)、④ホストファミリー交流会(1回)、⑤スタッフ会議(13回)						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	市内外国人数	1,364	1,488	1,645	人	統計かまがや
	ii	多文化共生推進連絡協議会団体数	4	4	4	団体	業務取得
iii	多文化共生推進センター来所者数	2,827	2,383	2,494	人	業務取得	
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	5,089	4,881	金額(千円)	内容	13,764		
国支出金(千円)			907	プロジェクトマネージャー報酬			
県支出金(千円)			2,732	非常勤職員賃金			
市債その他(千円)			876	通訳ボランティア謝礼			
一般財源(千円)	5,089	4,881			13,764		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	多文化共生推進センターに対する市民の認知度が低く、利用者が少ない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	多文化共生に係る拠点施設として位置付けられているセンターのPR及び運営方法の見直しを図るため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	平成30年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H29からの繰越
		H29⇒30繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		令和元年度への繰越額(単位:千円)			

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	総合基本計画策定事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	8	○
政策	41計画の実現のために	担当課室	企画財政課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	小笠原 直樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	無し	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	次期基本構想を策定するため、事業者や団体との意見交換及び審議会への諮問、答申を経て、市議会の議決を得る。また、次期基本構想を踏まえ、庁内検討を進め、次期基本計画(案)を策定する。
②①に基づく取り組み結果	無し		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民、事業者、団体	意図(対象をどうするのか)	市と共同でまちづくりを進める
②事務事業の概要	現行の総合基本計画が、令和2年度で終了することを受け、令和3年度から令和14年度までを計画期間とする総合基本計画を新たに策定するもの。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成30年度に実施した基礎調査及び市民意識調査の他、審議会や事業者等からの意見を踏まえ、計画を策定する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	「鎌ヶ谷市総合基本計画の策定に関する条例」の制定や、基礎調査報告書を策定した他、審議会を開催し、委員の委嘱及び現状の報告を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠
	i	鎌ヶ谷市総合基本計画基礎調査報告書の策定			1	冊	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	0	9,890	金額(千円)	内容	13,764		
国支出金(千円)			9,787	総合基本計画策定支援業務委託			
県支出金(千円)			102	鎌ヶ谷市総合基本計画審議会委員報酬			
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		9,890			13,764		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	人口減少対策や少子高齢化対策など今後解決すべき課題を踏まえ、次期総合基本計画を策定する必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	庁内の検討、事業者等との意見交換、審議会への諮問・答申、市議会との連携を踏まえ、次期総合基本計画を策定していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	基礎調査委託	平成30年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	基礎調査報告書の策定	9,997	9,997	当初	9,997	H29からの繰越	0	
				H29⇒30繰越				
③達成状況	完了			補正		9,890	現年分	9,890
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
令和元年度への繰越額(単位:千円)							20	